



教えて! Doctor **ドクター**

テーマに関する素朴な疑問に  
脳神経外科の専門医がお答えします

Q&A

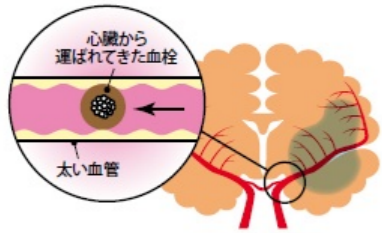
# 脳梗塞 編

監修：総合大雄会病院  
脳神経外科統括部長  
加藤 貴之 医師

**Q** 脳梗塞のタイプについて教えてください

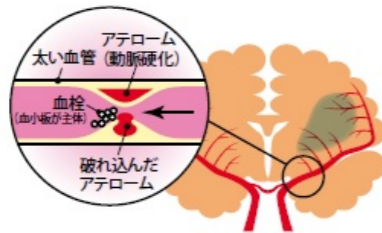
**A** 脳梗塞は主に3つのタイプに分けられます。

### 心原性脳塞栓症



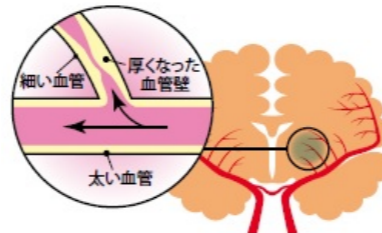
心房内での血のかたまりが血流にのり  
脳に運ばれると脳の血管が詰まるタイプ

### アテローム血栓性脳梗塞



動脈硬化などで狭くなった太い血管  
に血栓が詰まるタイプ

### ラクナ梗塞



脳の細い血管が詰まるタイプ

## 脳卒中セルフチェック「FAST」 動画のご紹介

- 「FAST」とは
- ✓ Face (顔)
  - ✓ Arm (腕)
  - ✓ Speech (言葉)
  - ✓ Time (時間)

の略で、脳卒中をチェックするためのキーワードです。



動画はこちらから

総合大雄会病院  
脳神経外科ホームページ



社会医療法人大雄会  
地域健康情報誌 [テ・ア・テ]

# Te・A・Te

特集

## 脳梗塞とは?



尾張一宮  
リトルリーグ

### 施設紹介



総合大雄会病院

総合大雄会病院  
〒491-8551 一宮市桜一丁目9番9号  
☎0586-72-1211 (代)

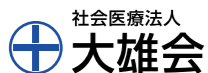
大雄会第一病院  
〒491-8551 一宮市羽衣一丁目6番12号  
☎0586-72-1211 (代)  
健診センター ☎0586-26-2008 (直通)

大雄会クリニック  
〒491-8551 一宮市大江一丁目3番2号  
☎0586-72-1211 (代)

老人保健施設アウン  
訪問看護ステーション・アウン  
〒491-0101 一宮市浅井町尾関字同者165  
老人保健施設アウン ☎0586-78-1111  
訪問看護ステーション・アウン ☎0586-51-0031

新生訪問看護ステーション・アウン  
〒491-8551 一宮市桜一丁目15番19号  
☎0586-28-5633 FAX 0586-28-5634

大雄会ルーセントクリニック  
〒451-6003 名古屋市西区牛島町6番1号  
名古屋ルーセントタワー3F ルーセント・ウェルネスセンター内  
健診センター(フリーコール) ☎0800-500-1211  
外来 ☎052-569-6031



社会医療法人  
**大雄会**

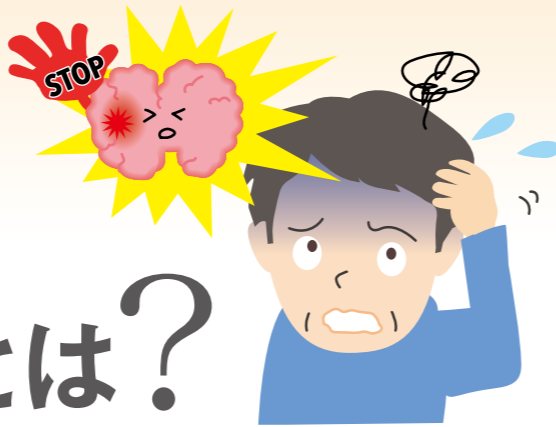
企画・発行：社会医療法人大雄会 経営企画課  
☎0586-24-2565 ✉pr1@daiyukai.or.jp

だいゆうかい

検索



# 脳梗塞とは?

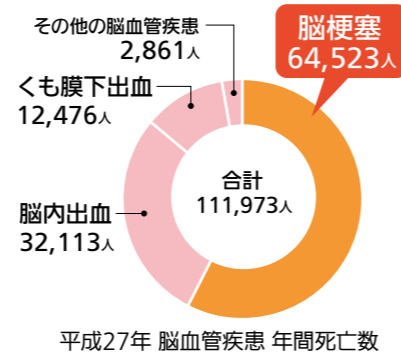


脳の血管の異常によって起こる病気を総称して「脳卒中」と言います。その中でも一番死亡数が多いのが「脳梗塞」です。\*

また「平成25年国民生活基礎調査」により、「寝たきり」の原因となる要因のうち約20%以上が脳梗塞をはじめとする脳血管疾患であり、本人だけでなく介護する家族にも影響する大変な病気といえます。

「脳梗塞」は誰にでも起こりうるものと考え、その発症のリスクや予防対策について知っておくことが重要です。

※平成27年(2015)人口動態統計(確定数)の概況(厚生労働省)



総合大雄会病院  
脳神経外科統括部長  
加藤 貴之 医師



## 脳梗塞とは

脳梗塞は、**脳の血管や頸部の血管が詰まることで血液が流れなくなり、脳組織に障害が起こる病気**です。脳梗塞のできる部位や大きさによって、様々な症状がでます。代表的なものは片側の手足の麻痺や感覚障害、言語障害などです。こうした症状は前触れなく突然起きることがほとんどで、軽症であったり短時間のうちに回復したりしても、すぐに病院を受診し診察を受けることが大切です。

### 「脳梗塞」初期症状チェックリスト

- 思うように話せない(ろれつが回らない)
- 顔面が麻痺して顔がゆがむ
- 手足の片方だけ力が入らない
- 目の見え方がおかしくなる(視野が狭い)
- 人の話が理解しにくくなる
- 文字が書きづらい



上記の項目で一つでも当てはまる場合はできるだけ速やかに病院を受診しましょう。

特に激しい頭痛や片半身の麻痺、言語障害などの症状が現れたらすぐに救急車を呼ぶか、急いで医師の診断を受けてください。



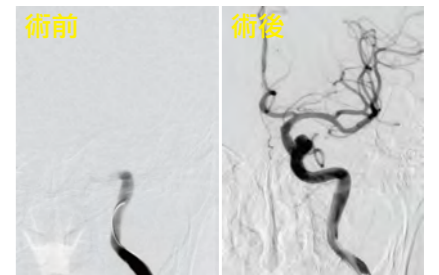
## 治療について

脳梗塞の治療は時間との勝負です。脳の障害が広がらないようにするため、できるだけ早く血液の流れを良くすることが重要です。発症後できるだけ早く血管を再開通させることで、脳梗塞になりかけの部分を救うことができます。



### カテーテルによる治療

脳梗塞を発症して数時間以内の超急性期では、閉塞した血管の再開通療法が行われます。t-PAという強力な血栓溶解薬を点滴で使用したり、カテーテルで血栓を摘出したりする治療を行います。カテーテル治療は閉塞した血管があまりに細い場合は対象外となってしまいますが、主要な脳血管であれば到達可能です。**血栓回収のための専用カテーテルは複数の製品が使用できるように常備されており、専門医が最善の方法で治療を行っています。**また、頸動脈などの頭頸部の主要な血管に高度狭窄が見つかった場合は、脳梗塞を予防するために血管を拡張する治療を行うことがあります。



脳血管カテーテル検査の画像  
術後は血管の再開通が確認できます



摘出された血栓

### 薬物治療

脳梗塞の薬の治療には血栓を予防する抗血栓薬、いわゆる「血液をサラサラにする薬」を使用します。**脳梗塞の再発予防のお薬は、基本的には一生飲み続けていかなければなりません。自己判断で勝手にやめてしまう方がいますが、それは非常に危険です。**

高血圧の薬は自宅で測定する家庭血圧が低下することで効果を実感できます。糖尿病の薬は血糖値などが低下すると効果を実感できます。一方で、脳梗塞の再発予防に使われる薬は、数値として実感できないので、「飲まなくても大丈夫かな」と考えてしまう人がいますが、それは大きな間違いです。**薬を途中でやめてしまうことで、再発する方が非常に多いのです。**

## 再発について

脳梗塞は再発しやすい病気です。再発すると重症化しやすく、命に関わることも少なくありません。脳梗塞にはいくつかのタイプがあり、タイプによって再発率や重症度、薬剤の選択などが異なります。特に**心原性脳塞栓症**や**アテローム血栓性脳梗塞**の再発率が高いといえます。以下の項目に該当する方はより再発率が高くなります。

- 基礎疾患として心房細動という不整脈のある方
- 頭頸部の主要な血管に狭窄や閉塞のある方
- 高血圧、糖尿病、脂質異常症などの複数の基礎疾患をもっている方

### まとめ

脳梗塞は脳の血管に血栓が詰まる病気です。原因の多くは生活習慣からきているといわれています。日頃の食生活や運動不足を解消するようにしましょう。頭頸部の血管狭窄は頭部MRIや超音波検査、頸部の聴診などで見つかることが多くあります。気になる症状がある方は脳神経外科外来を受診してください。

